

環境毒性リレーセミナー第1回

「種の感受性分布にまつわるあれこれ：永井さんと加茂さんに聞いてみよう」

■第1回の目的

化学物質の生態リスク評価に用いられる種の感受性分布 (Species sensitivity distribution : SSD) は、一般的に、有害性値 (毒性値) を対数正規分布などの統計学的分布 (あるいは確率分布) に当てはめることで、95%の種が保護できる濃度 (HC5 と呼ばれる) や任意の濃度における影響を受ける種の割合を推定する方法である。SSD は、日本ではまだ行政活用例は少ないが、国際的にはその利用が近年増えてきている。そこで、環境毒性リレーセミナーの記念すべき第1回では、その推定方法や利活用方法、既存の手法との違いなどを、永井氏、加茂氏にざっくばらんに紹介していただいた後に、SSD に関わる疑問を両氏にぶつけることで、環境毒性学や生態リスク評価に関わる皆様の SSD の理解を大幅に増強したい。

■開催方法

オンライン開催 (Zoom を使用)

無料です。環境毒性学会員以外の方も参加可能です。「面白そうだな!」や「応援したい!」と思われた方は、本会への入会や年会への参加を是非ご検討ください。

■日時

11月9日 (火) 14:00~16:00

■タイムスケジュール (若干の変更がある場合があります)

14:00~14:10

すぐ終わる趣旨説明

岩崎雄一 (産業技術総合研究所)

14:10~14:40

種の感受性分布を使ってみたいが周りにうまく説明できる自信がない、そんなアナタの悩みに答えます!

永井孝志 (農業・食品産業技術総合研究機構)

14:40~15:10

種の感受性分布を批判する皆様に知ってもらいたいXつのこと

加茂将史 (産業技術総合研究所)

15:10~16:00

総合討論 (永井さんと加茂さんに聞いてみようの時間)

